

# 平成23年度 6月補正予算案の概要

京 都 府



# 補正予算案の内容

## 6月補正の考え方

東日本大震災の影響による国庫補助事業の内示減や雇用環境の悪化などに対応し、一段の景気刺激策や求人の回復対策を講じるとともに、今夏の節電対策など緊急の課題について補正予算を編成

## 5月補正予算

大震災の発生を受け中小企業の資金繰り対策や被災地支援など、当面の下支え対策を実施

- ①景気・求人回復対策
- ②省エネ・創エネ対策
- ③生活支援対策
- ④防災・災害対策
- ⑤被災者・復興支援対策

# ①景気・求人回復対策



# 景気回復対策

## 安全基盤追加整備事業

1,000百万円

国庫補助事業の内示減を踏まえ、  
安全基盤の追加整備を実施

\* 復興財源確保のため、国の公共事業関係予算が5%留保され内示

◆ 具体的な事業としては、  
緊急輸送道路の橋りょう耐震化  
災害時孤立集落の解消(法面整備)  
治山事業 など



これにより、事業完成年度を前倒し

(例) 橋りょう耐震化事業の今年度完了 2箇所 → 7箇所

\* 厳しい雇用・経済状況を踏まえ、上半期の工事執行を前倒しすることで  
当面の事業量は確保(発注率は過去最高の88%)

耐震改修倍増

## 住宅耐震化促進事業

110百万円

- ◆ 高まるニーズに応え、制度を拡充して実施
  - \* 自己負担額(負担率) 60万円(1/2) → 30万円(1/4)
- ◆ 耐震工事の発注増により経済・雇用効果もねらう

間伐材需要増への対応

## 間伐材需要緊急対応事業

57百万円

- ◆ 震災復興に必要となる合板の需要に応え、間伐材の供給体制を整備する森林組合等に対し助成
  - \* 補助対象: 高性能林業機械の導入費用
  - \* 出荷コストの抑制効果に加え、これを機に将来にわたり経営改善につながる機械化を促進

国庫獲得  
農業の経営安定

## 野生鳥獣被害対策加速化事業

316百万円

◆広域防護柵の整備に対し、3億円の追加助成を行い、サル、シカ、イノシシから農作物の被害を防ぐ

- \* 対象：市町村が策定した鳥獣被害防止計画（H23～25）に基づく整備
- \* 3カ年計画を前倒して、今年秋の収穫期までに整備



# 求人回復対策

1,500人の求人開拓

中小企業緊急求人開拓促進事業

327百万円

- ◆求人開拓強化月間(8~10月)を設定し、求人開拓員を増員して集中的に開拓
- ◆新たな求人で雇用につながった場合に、マッチングの期間(1カ月間)の人件費を求人企業に助成
  - \* 求人に対する企業のインセンティブ付与

## ②省工ネ・創工ネ対策





# 今夏の節電対策

電力不足  
を回避！

## 京都府庁節電対策

電力状況に応じ12%から最大17%  
まで対応できる体制を準備

- ◆府庁節電対策事業 \* 電力使用量の多い下水道施設等の節電
- ◆府庁エコ照明推進事業 \* 与謝の海病院照明LED化(設計)

54百万円  
10百万円

## 中小企業の節電対策への支援

### ◆中小企業節電対策緊急支援事業

- ・夏場の電力ピークカット対策に助成
  - \* 対象 節電設備・工事費(LED照明への切替など)  
節電の取組(休日シフトに伴う企業内土日保育などの実施)
- ・補助額 対象経費の1/3以内で100万円まで

30百万円

## 要配慮者への支援

### ◆緊急時要配慮者支援事業

- ・在宅で人工呼吸器等を使用されている方の相談窓口の設置など

2百万円



# 創エネ対策

## 中長期のエネルギー対策

### 再生可能エネルギー導入可能性調査事業

#### ◆エネルギーの利用可能性に関する基礎調査等を実施

- ・太陽光、風力、小水力などの利用可能量や適地の調査
- ・太陽光発電設備等の家庭・企業への普及策の検討 など

10百万円

# ③生活支援対策



# トランポリン型福祉

研究会提言を  
踏まえ事業化

## 京都式生活・就労一体型支援事業

97百万円

### ◆北部ジョブパークに「自立支援コーディネーター」を配置

\* 福祉事務所とのケースワーク会議などを通じて、効果的な支援モデルを開発

### ◆生活・就労のための自立支援事業の実施

①ジョブトライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期雇用による企業実習</li> <li>・社会貢献に取り組む企業での試用雇用</li> </ul>
②在宅就労支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅就労(Web制作等)につながる技能訓練</li> </ul>
③日常生活等自立支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉施設やNPO等の補助業務を通じた訓練</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農園での集団作業などによる就労体験</li> </ul>

### ◆NPOと連携して保護世帯の中学生の進路相談・助言を実施

### ◆オール京都体制で支えるプラットフォームの構築

・経済、福祉団体、NPO等の参加を得て、支援プログラムの策定等を実施



# 京都式地域包括ケア

## 機構発足に伴う新規事業の実施

60百万円

◆地域包括ケア推進機構の発足(H23.6.1)に伴い、医療・介護・福祉サービス関係団体等が参加した「6つのプロジェクト」でモデル事業を実施

プロジェクト	具体的内容
①在宅療養あんしんプロジェクト	かかりつけ医と後方支援病院との連携システム ドクターズネットを活用したかかりつけ医紹介体制
②認知症対策充実プロジェクト	認知症疾患医療センターを活用した医療・介護・福祉の連携モデル
③地域におけるリハビリ支援プロジェクト	地域に配置する専門コーディネーターによるリハビリ体制
④介護予防プログラムプロジェクト	運動、栄養、口腔衛生等を組み合わせた実践プログラム
⑤地域で支える生活支援プロジェクト	くらしのサポートコーディネーターを活用した生活支援モデル
⑥あんしんサポーター設置養成プロジェクト	身近な所で気軽に相談できるサポーターの養成と地域での活動体制

# ④防災・災害対策



# 原子力防災対策

暫定計画策定に基づく対応

## 医療体制整備事業

15百万円

### ◆初期被ばく医療機関の追加指定と必要資機材の配備

- ・EPZ20km圏外の救急告示病院(南丹以北11病院)を新たに指定
- ・放射線サーベイメーター、防護服等を配備

## 原子力防災啓発事業

3百万円

### ◆EPZ見直しに伴い、圏域内の全世帯に啓発冊子を配付

- \* 市町村と共同で住民説明会等を実施して配付



# 大雨被害対策

## 災害復旧事業

## 大雨・台風被害の復旧

◆5月の大雨・台風により被災した道路や河川、農林基盤施設などの公共施設を早急に復旧

### 【事業規模】

- ・農地・林道 約3億円
- ・河川・道路 約7億円

983百万円



# ⑤被災者・復興支援対策



# 被災者・復興支援対策

被災者支援

## 被災児童生徒就学等支援事業

23百万円

- ◆東日本大震災により被災した児童生徒の保育料、授業料等への助成 \*対象 園児～高校生

## 被災地児童生徒心の復興等支援事業

8百万円

- ◆心の復興支援(福島県の避難児童招致事業)
  - ・夏休みを利用して、避難所生活を送る児童生徒を京都に招き、京都の自然や文化を体験
- ◆高校職業学科生徒の実習受入
  - ・震災により施設・設備に被害を受け、実習のできない職業系専門学科の生徒に府立高校での実験・実習の場を提供

## 国民文化祭京都震災復興応援事業

16百万円

- ◆**京都国文祭復興発信事業**
  - ・被災高校生を招き、オープニングパレード等で応援イベントを実施
- ◆**震災復興祈念薪能開催事業**
  - ・開会式で鎮魂の祈りと復興への決意を込めた薪能を開催
- ◆**京都”こころの灯火(ともしび)”事業**
  - ・延暦寺の「不滅の法灯」から分灯した灯火を府全域で巡回し、復興と平和の決意を京都からアピール
- ◆**被災地出演団体支援事業**
  - ・被災した参加者に対し参加経費を助成



# 補正予算の規模

一般会計 3,145百万円

6月補正後予算額 912,059百万円

〔 参 考 : 22年6月補正後 8,824億円 〕